2012. 12

取扱説明書
ダウンベルト荷締機

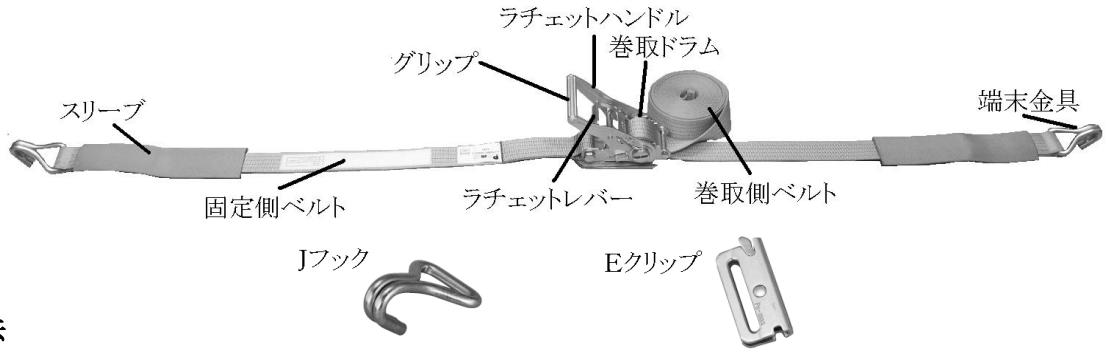
１，注意事項

⚠危険（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う事になるもの。）
①使用前に本商品を点検し、巻取ドラム、その他金属部分の磨耗、ベルト及び縫製部に傷、破断、ほつれがある場合は、絶対に使用しないで下さい。又、水や油が付着している場合は、拭き取って下さい。 ②ベルトを結んだり、ねじれた状態で使用しないで下さい。

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性があるもの。）
①カタログ、ベルトのタグに記載された使用荷重以上では、絶対に使用しないで下さい。 ②ナイロンスリングの球掛け作業として、使用しないで下さい。 ③酸性の強い場所では使用しないで下さい。 ④角張ったコーナーには、必ずベルトコーナープロテクター又は、Ｌコーナーを使用して下さい。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は製品の重大な破損を招く恐れのあるもの。）
①巻取ドラムに巻取側ベルトを巻き過ぎない様にして下さい（目安として、２～３周巻き取って下さい）。 ②本商品を、人間一人の手引き力以上では、操作しないで下さい。 ③端末金具とベルトの引張り方向は、直線になる様にして下さい。 ④走行中の振動により、荷物の収まりが変わり、荷締めが緩む事があるので必ず追締めをする様にして下さい。 ⑤荷締めをした荷を緩める時は、荷崩れや、荷の落下等が無いか、注意しながら行って下さい。

２，部品名称



３，使用方法

●締め方

①端末金具（Ｊフック）を、指定の位置にかけて下さい（図１参照）。Ｅクリップの場合は、図２の様にＥクリップの金具を真っ直ぐにして、人差し指で中央のピンを手前に引きながら取り付けレールの穴上端に差し込み、Ｅクリップ下部が取り付けレール穴下端に接触するまで押し下げて下さい。その位置で人差し指を離すと、取り付ける事が出来ます。取り外しは上記手順と逆です。

②巻取側ベルトを巻取部（巻取ドラムの隙間）に通し（初めから通してある商品はそのまま）、図３の様に矢印のＡ方向に引いて、ベルトの緩みを取って下さい。

③ラチェットハンドルを、上下（前後）させてベルトを巻き取って下さい。ラチェットハンドルを図４の様にＢ方向に押すと、ベルトを巻き取る事が出来ます。

④ベルトの巻き上げ完了後、ラチェットハンドルを図３の状態になるまで、完全に倒して下さい。

●緩め方

①ラチェットレバーを、グリップ方向へ引き上げながら、ラチェットハンドルを１８０°回転させると、ベルトが緩みます。後は、巻取側ベルトを巻取部から引き出して下さい。

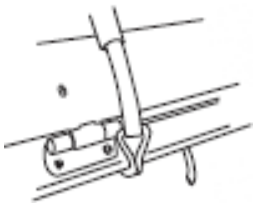


図１

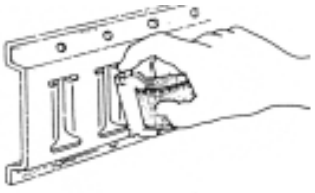


図２

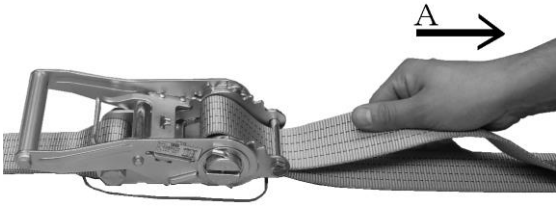


図３

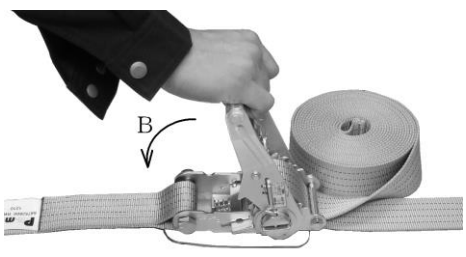


図４

株式会社パーマンコーポレーション

〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　　０１２０－２０２－８００

MADE IN CHINA